

アグリビジネス分科会 2006年度 活動報告



今年度の活動

■ アンケート調査

- 全都道府県の生産者36名を対象として調査
- 農学研究に対する認知度
- 研究者と農業従事者間のコミュニケーション
- 研究成果の公開先

■ アグリビジネス分野で起業をした若手起業家による講演会



今年度の活動

■ アンケート調査

- 全都道府県の生産者36名を対象として調査
- 農学研究に対する認知度
- 研究者と農業従事者間のコミュニケーション
- 研究成果の公開先

■ アグリビジネス分野で起業をした若手起業家による講演会



アンケート内容

農学研究に対する認知度

- 農学分野でどのような研究がされているか知っているか
- 具体的にどのような研究を知っているか
- 新しい技術を農業に取り入れたいと考えているか

研究者と生産者間のコミュニケーション

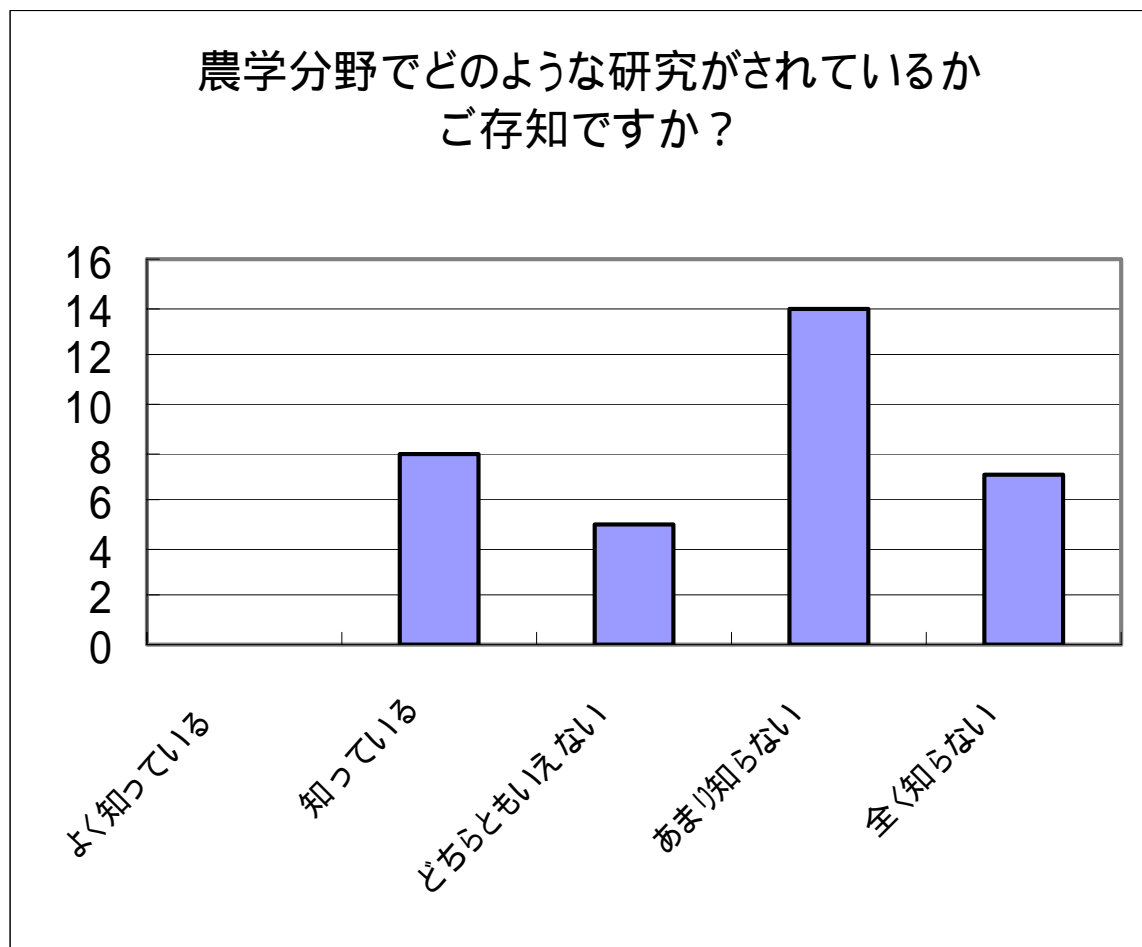
- 農学研究者と対話の機会がどの程度あるか

研究成果の公開先

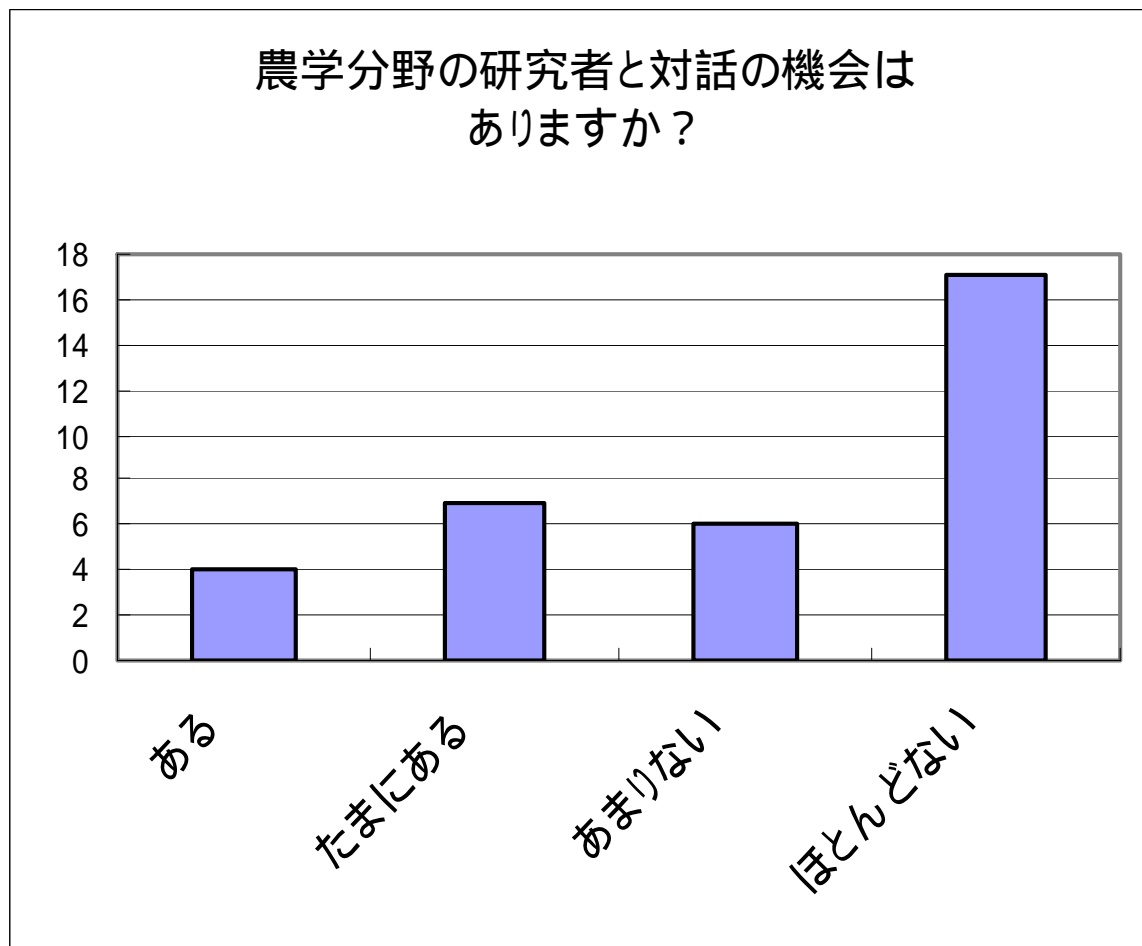
- 農学の研究成果が十分に公開されていると感じているか
- 研究成果を閲覧する情報源



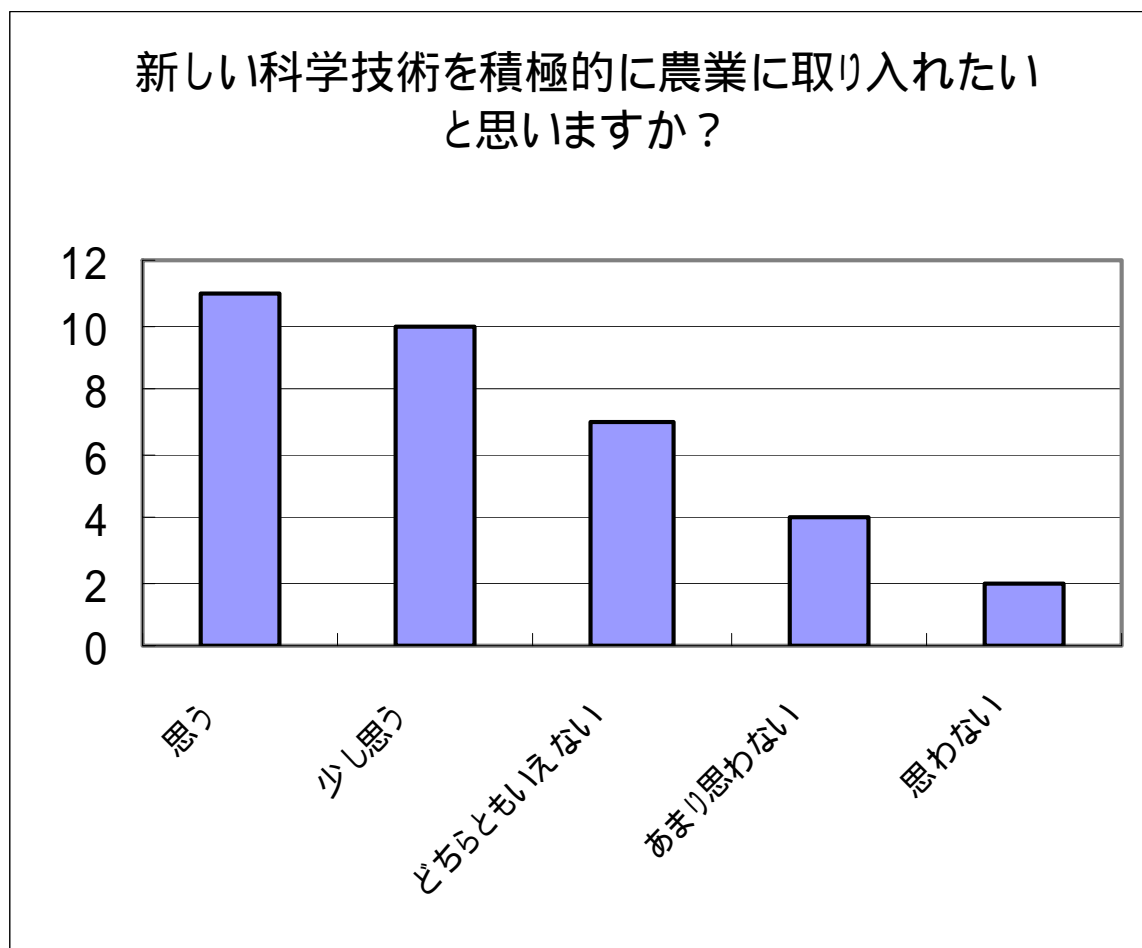
アンケート結果-選択式



アンケート結果-選択式

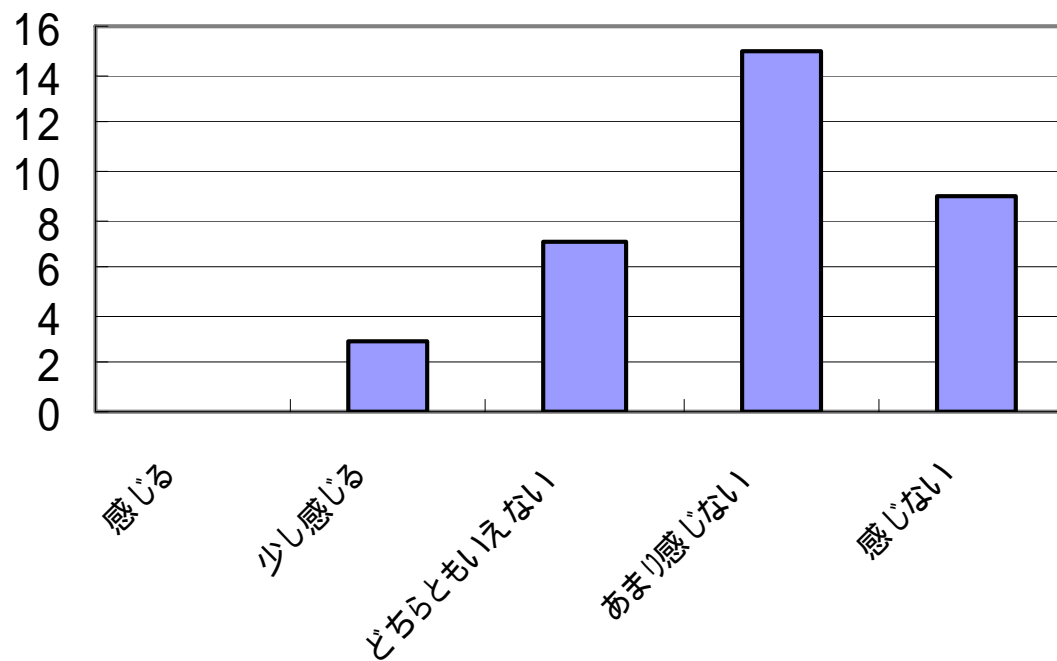


アンケート結果-選択式

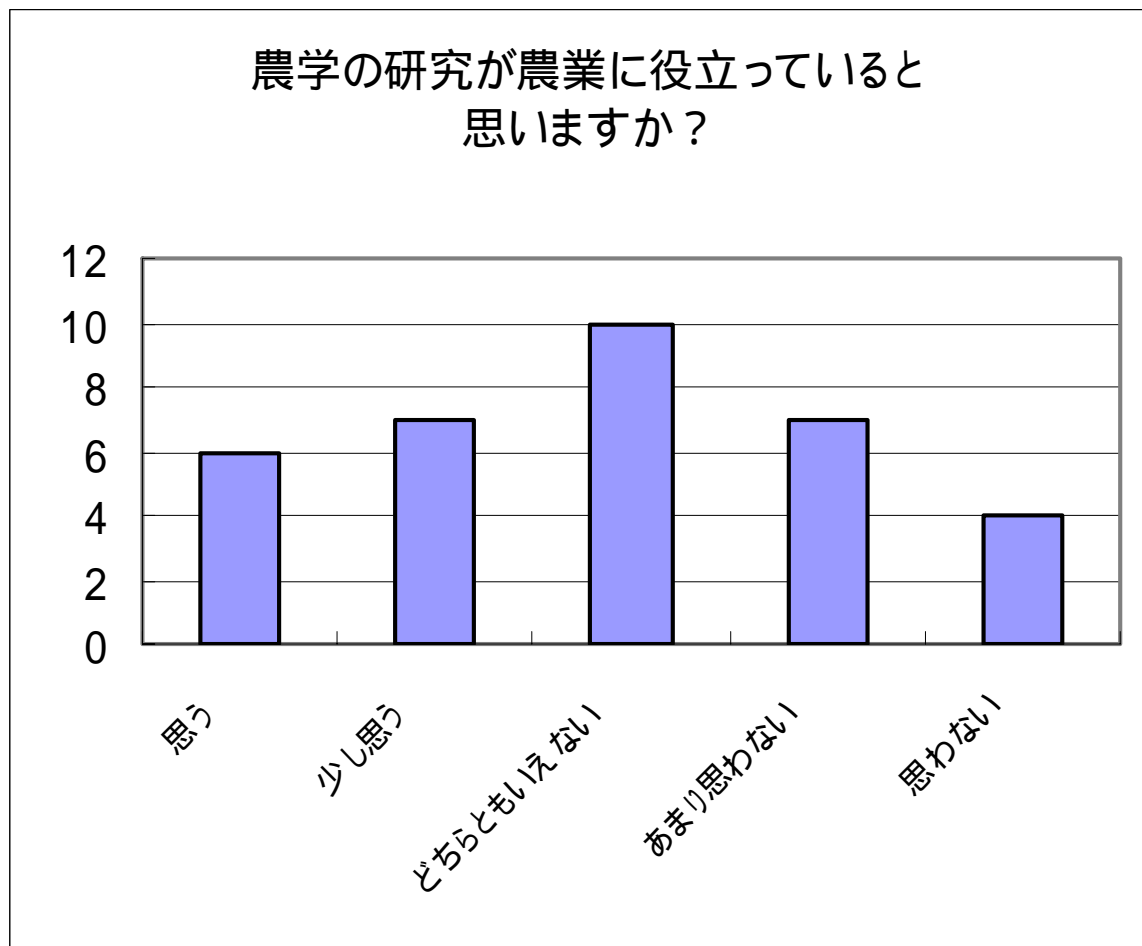


アンケート結果-選択式

農学分野での研究成果は、十分に公開されていると感じていますか？



アンケート結果-選択式



考察

- 生産者は、農学分野の研究に関する情報を目にすることが少なく、また実際に農学の研究に関わる研究者と交流する機会は非常に少ない。
- 同時に、生産者が情報源としているインターネットでは研究者はその成果を開示しておらず、ミスマッチが生じている。
- そのため、生産者・研究者の両者が国内に散在する高齢化、自給率低下などの農業に関する問題、食料増産や環境問題に対応する農業に対して高い意識を持っているもののうまく開発される技術が適用される素地ができていない。



講演会

- アグリビジネス分野の若手起業家による講演会
- 新しい活動を、生産者とともに起こして行くにあたり、どのような要素を持って行っているのか



講演会 日本情報化農業研究所

■ 代表取締役 古荘貴司氏

□ ビジネスモデル

- 新規就農の促進のための技術習得や計画立案の支援
- ITの強みを生かした農業コンサルティング事業

□ 講演内容

- 日本農業の現状に関する認識の違いについて
- 資金・土地などの支援を行い、リスクの低い農業を展開したい



講演会 ippoプロジェクト

■ 代表 福井佑実子氏

□ ippoプロジェクトのモデル

- 障害者の就労支援
- 「贅沢野菜のバランスランチ」事業

□ 講演内容

- 障害者の就労状況の現状について
- バランスランチ事業の紹介

□ 高い理念を掲げ、生産者の協力を受ける



講演会 株式会社NOPPO

■ 代表取締役 脇坂真吏氏

□ 事業内容

- 農業ポータルサイトの運営
- 農業学生育成

□ 講演内容

- 農業関係の仕事につきたい学生の就職先がない一方で、人材のニーズはある。
- 相場の上下や天候に対応するために余剰生産している野菜のロスについて
- 福岡県八女にて進めている竹堆肥プロジェクトの紹介
- コアの技術を元に、品質の安定化、ブランディングを目指す。



今年度の活動のまとめ

■ 生産者に対するアンケート調査

- 農学の技術が、生産者まで浸透していない現状が浮き彫りになった
- 一方で技術への関心は高い
農学技術や関連する情報の提供がこれからの課題

■ 講演会

- 農業に関するニーズ(人材、技術、サービス)を的確に把握することが重要



次年度の方針

- 先進的取組を行っている(あるいは計画している)自治体の担当者を招いて、自治体と企業の取組みについてお話いただく
- 隔月開催、講演会形式
- オーガナイザー3名体制に変更
 - 塚田周平、高橋修一郎、**島田宝宜(次年度から)**
次年度も宜しくお願いします。

